

THE ULiCS TIMES

2022年4月神戸大学附属図書館学生チームULiCS <https://lib.kobe-u.ac.jp/about/ulics/>

2022.4.vol.11

神戸松蔭女子学院大学と 交流会を実施しました！



2021年9月21日に、神戸松蔭女子学院大学の図書館サポーターとULiCSの第二回交流会を行った。新型コロナウイルスの影響もあり、前回のように対面での開催とはならなかったため、Zoomを用いたオンライン交流会となった。1年半ぶりの今回は、両大学合わせて16名の参加者が集まった。

所属学部やよく読む本のジャンルなどを交えた自己紹介を行った後、お互いの活動内容を共有した。通常時の活動に加え、コロナ禍の影響でできなくなってしまった活動に代わるアイデアも見せ合うことができた。ULiCSは、うりくす文庫やULiCSTIMES、新しく始めたブログや対面で実施できた保健科学図書室見学などについて、画像を織り交ぜながら紹介した。

その後、今回の交流会のメインイベントである「本の連想ゲーム」を行った。このゲームはテーマに基づいて連想した本のタイトルを話し合うものである。事前に各大学から「〇〇な本」「〇〇が出てくる本」などといったテーマを募集し、これらから連想する本のタイトルを匿名でフォームに投稿していた。当日は2テーマごとに組み替わる3～4人のブレイクアウトルームに分かれ、投稿を集計したリストを見ながら本の印象や自分が選んだ本の思い出などを語り合った。

今回挙がったテーマには、「一度は行きたい！あそこがのど当地本」「近畿地方が舞台の本」という作品の舞台に関するテーマ、「子どものころにハマった本」「国語の教科書に載っていた本」という思い出も共有できるテーマ、さらには「一文目が印象的な本」「結末が衝撃的な本」という読み手視点の印象に委ねられたテーマまで様々なものがあり、その各々のテーマでいろいろな盛り上がりを見せた。

最後には全員で感想も交換し、それぞれが様々な本と出会えたことや異なる価値観を共有できたことの面白さを唱えた。学外の図書館に関わる学生たちと出会い、言葉を交わすという経験は、オンラインとはいえ貴重な交流となった。

交流会後は各大学でアンケートを行い、面白かった取り組みや改善すべき箇所を挙げた。これらを活かし、次につながる活動にしていきたいと考えている。(交流会に応じただき、楽しい時間を共に過ごしてくださった神戸松蔭女子学院大学図書館サポーターの皆様、この場をお借りして感謝申し上げます。)(文学部3年 伊藤)



座談会記録

2022年2月15日、総合・国際文化学図書館でULiCSは団体初の試みとなるトークイベントを開催した。この企画の目的は、図書館に関心を持ってもらえるようなイベントを学生目線で開催することである。「第1回ULiCS座談会：海外留学編」というタイトルで、海外留学経験のある4名の大学院生の方にお話しいただいた。対面とオンラインのハイブリッド方式でイベントを行ったため、アメリカ留学中の方に現地からお話していただくことや、対面参加がしづらい方にも座談会を聞いていただくことが可能となった。

登壇者が留学していたのは、それぞれイギリスとアメリカ、ドイツ、フランス、ロシアとカザフスタンであった。座談会は登壇者の自己紹介から始まり、司会が留学のきっかけなどの質問を行う形式で進んでいった。登壇者に事前にご準備いただいた留学中の写真を会場とオンラインで共有しながら、留学で楽しかったことや、反対に困ったことについてお話しいただいた。登壇者の訪れた国、留学期間、研究や就職といった渡航目的はそれぞれ異なっており、「海外留学」というテーマの中でも非常に多様な体験談を聞くことができた。

イベントが図書館で開催されたこともあり、各国の図書館事情や滞在した国にまつわるおすすめ本についてもお話を伺った。アメリカはILLという図書館間での資料の相互利用システムが整っていることなど、日本と比較した際の海外の図書館の様子についても知ることができた。また、おすすめ本については、研究書から文学まであらゆるジャンルのものをご紹介いただいた。そのうち、総合・国際文化学図書館に所蔵のあるものは、2階のULiCS文庫のコーナーで借りることができる。

今回のイベントは、海外留学を考えている方にも、図書館や本に関心のある方にも有意義なものとなっていたのではないだろうか。実際に、座談会後の質問コーナーでは、参加者から「海外留学の意義とは？」という重要かつ興味深い質問があり、登壇者は留学の魅力について熱心に答えていた。今回の経験や反省を踏まえて、今後は、ULiCSの後輩たちが新たな図書館イベントを開催してくれることを期待したい。
(文学部卒業生 岸本)



ULiCSと「まごまご読書倶楽部」

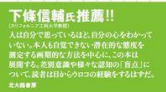


まごまご読書倶楽部（まご読）とは…

月に1回程度、その時々テーマに沿った本を持ち寄り、持ち寄った本の紹介をしたり、その時のテーマについて話したりする会である。2021年度では、感染症拡大防止のため、遠隔での開催をすることが多かったが、12月には対面で開催した。なお、遠隔開催の際には、ULiCS部員以外からの参加や見学も可能としていた。

ULiCSには様々な学部・学年から様々なジャンルの本に興味がある人が在籍している。学術書に興味がある人もいれば、小説に興味がある人もいる。そのため、まご読では、まだ見ぬ本に出会うことができる。なお、まご読の方針に、「まごまご」というものがあり、基本的に学生によって運営・開催されることもあり、和やかな雰囲気の中で自由にテーマに沿った本について話すことができる。（法学部2年 寺岡）

最近の「まごまご読書倶楽部」で紹介された本



10月テーマ まごまごビブリオバトル

M.R. バナージ・A.G. グリーン
ワルド 著
北村英哉・小林知博 訳
『心のブラインド・スポット』

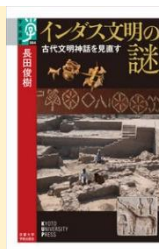
綿矢りさ
『かわいそうだね?』

11月テーマ 小説ではないもの

長田俊樹
『インダス文明の謎』

水木しげる
『妖怪大百科』

ジャン＝クロード・ベルフィオール 著、金光仁三郎 ほか 訳
『ラールス ギリシア・ローマ神話大事典』



12月テーマ：本の内容連想

カトリーン・マルサル 著
高橋瑠子 訳
『アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か?』

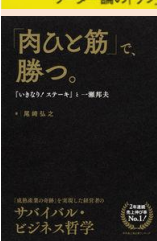
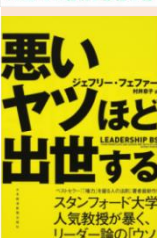
ジェフリー・フェファー 著
村井章子 訳
『悪いヤツほど出世する』

尾崎弘之
『「肉ひと筋」で、勝つ。』

津村記久子
『この世にたやすい仕事はない』

曾野綾子 『日本人の甘え』

社系図書館を借りた対面開催の様子



※5冊すべて
社会科学系
図書館所蔵

まごまご読書倶楽部開催情報はULiCSのTwitterで発信！
右のコードを読み取って@ULiCS_KobeU_Libをフォロー！



新入生へのお勧め図書

新入生への読書指南——光文社古典新訳文庫のススメ

若者の「活字離れ」という言葉が世間に浸透して久しい。大学生となった皆さんは、読書に対してどのような意識をお持ちだろうか。「読書は大事だ！」と頭ではわかっている、授業にサークル、さらにバイト…と忙しい毎日を過ごしていると、落ち着いて本に親しむ時間を確保するのは、なかなか難しいかもしれない。大学生の約半数は、月に一冊も本を読まないというデータもあるくらいである。



(左2冊は国際文化学図書館他に所蔵あり)

そこで、大学から少しずつ読書習慣を身につけていきたいと思う新入生の皆さんに、「**光文社古典新訳文庫**」をオススメしたい。光文社古典新訳文庫は、文学や哲学書をはじめとした往年の古典を、現代のわかりやすい言葉で蘇らせることを目的に創刊されている文庫レーベルである。『老人と海』、『罪と罰』、『種の起源』など欧米の作品が多数を占めるが、『方丈記』や『阿Q正伝』など、アジアの文学作品も揃っている。こうした古典作品は、他のレーベルでも多数の邦訳や現代語訳が出版されているが、中には難解で読破に苦労するものも少なくない。その中で光文社古典新訳文庫は、どれも読みやすさを重視した訳が施されている点が特徴的である。イメージに反してサクサク読み進められる作品の数々は、「古典は難しい」という私たちの先入観を振り払ってくれる。

もちろん古典にこだわらずとも、名著と称される作品はたくさんあるだろう。しかし、古典が間違いなく名著であることは、世界中で長い間読み継がれてきたというその歴史が証明している。読書を始めたいが、何を読めばよいかイマイチわからないと思っている新入生にこそ、光文社古典新訳文庫をその第一歩として勧めたい。

(国際人間科学部3年 疾風)

あなたもULiCSで活動してみませんか？

ULiCSってなに？

“University Library Connects Students”のコンセプトからULiCSと命名された、神戸大学附属図書館の学生サポーターチーム。神戸大学附属図書館における「学生協働」のチームとして結成された。

活動経歴

現在はコロナ禍で対面活動に制限がある中、オンラインや対面など方法を臨機応変に変更しながら定例会や3面で取り上げたまごまご読書倶楽部を実施している。うりくす文庫も常時展開中。団体紙「THE ULiCS TIMES」は現在年2回発行。2021年度は9月に神戸松蔭女子学院大学の図書館チームとオンラインで交流会を行い、12月は図書館長と懇談、2月にはULiCS初の試みとなる座談会(1面)を開催した。本や図書館を中心として、チーム内外と交流したり、イベントを主催したりと様々な活動を行う。

新歓情報

学生団体主催の新歓の他、まごまご読書倶楽部や定例会は見学可能の活動。興味があればぜひお気軽に参加を！



ULiCS活動の詳細は
←こちらから

ULiCSは新しい仲間を募集中！